

平成27年2月4日

釜石市議会議長 海老原 正人 様

会派名 公明党
代表者 山崎長栄
報告者 細田孝子



会派視察調査報告書

当会派所属議員による視察調査を下記の通り実施しましたので報告致します。

1. 視察項目 ; 「下水道管路施設包括的管理業務」について
「議会改革の取り組み」について
市議会議員との意見交換会

日 時 ; 平成27年1月19日 (月) 13:30 ~ 16:30

相手方 ; 大阪府河内長野市議会議員 議長 大原 一郎
// 議員 副議長 山口 健一
// 議員 三島 克則
// 議員 中村 貴子
// 議員 浦山 宣之
// 議員 堀川 和彦
// 議員 山本 一男

大阪府河内長野市議会 事務局長 杉江 知二
// 議会事務局総務課長 北畑 義雄
// 議会事務局総務課長補佐 寺本 直文
// 議会事務局主幹 井上 淳雄

// 上下水道部経営総務課長 佐々木隆之
// // 企画係主査 竹本 典寛
// // 下水道課長 富田 親廣
// // 課長補佐 飯田 聡

場 所 ; 河内長野市議会 会議室



研修内容 「下水道管路施設包括的管理業務」について

これまでの国内で実施されている下水道業務に於ける民間委託は、管路の維持管理・補修や使用料徴収が主体だが、河内長野市では、これまでの業務に加え、管路の詳細調査とそれに基づく長寿命化計画策定業務を合わせた業務委託を行っている。国土交通省のモデル事業だが、委託業者は5社による共同事業体で平成26年4月1日より2年間の事業業務の締結を行っている。包括的民間委託の導入に至った狙いは、これまでの管路管理の在り方を事後対応型から予防保全型に転換する事であった。維持管理業務をパッケージ化し、民間事業者の技術やノウハウ、機動力を活用する事が有効と考えられる事、更には、職員の事務負担軽減と事務全般の質向上に繋がる事を目指している。業務委託から9ヶ月が経過をしたが、未だ職員からの引き継ぎをしている状況にあり完全委託には至っていない。契約期限後については、2カ年の検証を行った上で、継続契約も含め、改めてプロポーザル方式によって業者選定を検討していくとしている。

所 感

釜石市は、震災によって上下水道が広域にわたり被災をし、現在、復旧工事が進められているが、予想以上に不明水が多く困難な作業が続けられている。職員不足、財源の確保等課題があるが、一日も早い復旧を願いたい。復興事業の終了後に於いては、効率的な業務の遂行、管路の長寿命化計画策定などを考慮するなら包括的業務委託の検討も必要ではないだろうか。

研修内容 「議会改革の取り組み」について

河内長野市議会では、申し合わせ事項の中で、全議員が様々な課題について自由闊達に議論が出来る場として「特別全員協議会」を設けている。議員間の情報の共有化や議員相互の意思疎通を円滑にし、議会機能の充実に資する事を目的として議員間における討論も行われている。希望するテーマがある場合、各議員が書面により議長に申し出て、議長は申し出を受けたテーマを調整の上、各派の幹事長に諮り、次回のテーマ並びに開催日時を決定している。議会基本条例の制定、議会報告会の開催についても話し合いがなされているが、未だ結論に至っていない。

所 感

「特別全員協議会」が設置された大きな理由は議員間討論を可能にするためと伺った。一つの政策について闊達な意見交換を行い、政策を学び掘り下げ、

議員が政策や行政課題に精通出来る事は、先進的取り組みと評価できる。議会基本条例の策定には議論を重ねつつも未だ至っていないが、何を改革すべきなのか模索しながら取り組みを進めている。

研修内容 「市議会議員との意見交換会」

震災当日の映像を見て頂いた後に、発災後の議員の行動についての意見交換を行った。河内長野市議会議員からは、議員として行動すべきなのか、それとも其々の社会的責任の下で行動をすべきなのかとの意見が出され議論が分かれた。また、議会として災害時に於ける議員の行動マニュアルの策定を考えたいとの意見も。釜石市議会公明党側からは、震災時に於いての消防隊のいち早い派遣、広域職員組合による救援物資の配送、今に至る物心両面からの支援に対するお礼を述べる。其の上で、確実に進む風化と遅れる復興事業についての懸念を伝えた。

所 感

震災から4年。風化を止める為に我々に出来る事があつたら教えて下さいと申し出られた。阪神・淡路大震災を経験された関西地域の人情に触れて、感謝、感謝の意見交換会となった。

以 上